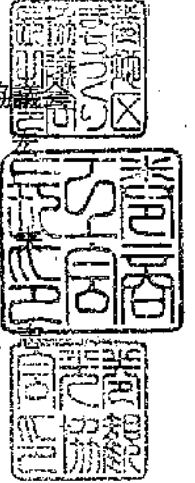


平成23年12月15日

新潟市長
篠田 昭 様

巻地区まちづくり協議会
会長 大倉 繁
巻商工会
会長 石田 三
巻観光協会
会長 本間 征



区役所庁舎建替えについての要望書

拝啓

貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、西蒲区に対して格別なるご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、西蒲区自治協議会において区役所庁舎建替えについて検討がなされ、平成22年度の自治協議会区役所庁舎整備検討部会の中間報告が提出され、自治協議会で採択されました。私共はその中で2案のうち現在地での改築を強く要望してきました。

平成23年度の区役所庁舎整備検討部会は、現在地での改築は考えないという結論を早々に出し場所の選定に入りました。私共が要望している位置が不可能であれば、「中間報告」で結論づけられている、優れた場所（JR越後線以東かつ国道116号以西を想定）に該当する位置を検討し議論を重ねた結果、下記の結論にいたしました。

◆区役所庁舎の建替えをするのであれば、巻駅隣接地（新潟市所有地）に建替えをお願いいたします。

【その理由】

- 1) 西蒲区自治協議会が平成23年3月24日の本会議で採択した、西蒲区役所の整備に関する検討結果「中間報告」に最も適合する位置である事。
- 2) 利用をする市民にとって
 - ・西蒲区の人口重心地であり西蒲区の拠点駅でしかも巻の中心地であることから、利用者にとっては自転車、徒歩で来庁でき特にこれから向かう超高齢者社会にとってはもっとも良い条件である。
 - ・JR巻駅とほぼ一体的に考えられることから、西川地区、岩室地区のかなり多く



の市民にとっても1駅で区役所ということから、自家用車を使わないで徒歩又は自転車、車椅子での来庁ができる。

- ・西蒲区以外のところからの来庁についても、JR巻駅との一体的な立地ということで利便性及び所在のわかりやすさも特段に優れている。

3) 交通について

- ・公共交通（JR、路線バス、高速バス、その他）の結接点であり、マイカー依存型社会から公共交通利用型社会へ転換しようとしているこれからの時代性に合致する。
- ・平成22年度に西蒲区と西区でJR越後線の増便運動を展開したが、駅と区役所を一体化させることによって越後線の乗客増に繋がることが期待でき、この運動の裏付けにもなる。
- ・区役所と巻駅、越後曾根駅、岩室駅を中心とした公共交通の組立が特段にしやすい。
- ・この3地点に高速道路巻潟東インターで大成功しているパークアンドライドを参考に、パークアンドレールライド事業を導入すれば、新潟市中央区等へのマイカー乗入れが減少し、新潟市内の交通体系にも大きな好結果が期待できる。
- ・マイカーでの来庁も隣接の駐車場で十分対応できる。

4) まちづくりについて

- ・人口減少時代に入り町中に空洞化が目立つ現在、新潟市は市の基本計画に、また西蒲区の区ビジョンまちづくり計画の基本に、コンパクトシティ構想を掲げている。正にその施策に合致する。
- ・現在西蒲区内で最大の産業といわれる行政機関を、郊外へ移転させるべきではない。町中の空洞化に拍車をかけることになりかねない。
- ・JR巻駅の橋上化を含む周辺整備が合併建設計画に挙げられており、しかも新潟市のマニフェストに拠点駅周辺の整備がうたわれ調査及び検討が始まっている現在、区役所とJR巻駅の一体的な構想は、官民一体となって推し進めている「駅を中心としたまちづくり」に大きく貢献する。また、それが西蒲区全体に発展と利益をもたらす。

5) 窓口機能

- ・巻地区以外の旧町村は、合併前の役場が区役所の出張所として、日常区民に必要な情報や必要な手続きがなされているが、巻は区役所が窓口機能を有しているので、巻駅隣接地に区役所ができれば巻地区の市民にとっては今までと同様の利便性が確保される。また、窓口業務の分散をしなくともよい。

6) 現区役所の跡地利用について

- ・現区役所移転後の活用については、必要な補修整備後まちづくりセンター、カルチャ

ーセンターなどの利用を望む。また、古い建物のほうは取崩しの後、現在の郷土資料館の機能をこの場所に移転させることを望む。

7) 不安な点について

- ・ JR越後線増便後にパークアンドレールライド事業を開始すると、駐車場スペースが不足する可能性がある。その際は2F～3F位の立体駐車場を考える必要がある。

8) その他

- ・ 平成23年3月に於ける「西蒲区自治協議会 区役所庁舎整備検討部会」の「西蒲区役所の整備に関する検討結果」中間報告に示されている「まとめ」に最大限合致するもの、またはそれ以上の結果が期待できるものとする。
- ・ 区役所は区役所のみで終わらせないで、西蒲区の中心市街地である巻の巻駅と区役所を一体化させることによって、交流人口の増加、全国からのJRを使った来町者の増加、角田山、多宝山と北国街道、岩室温泉の窓口として越後線の増便に繋がるとしたら、西蒲区全体の経済効果にも期待できる。また、巻駅周辺を活性化することによって西蒲区民の雇用の増加にもつながる。

9) 概算経費についての予想

庁舎建設経費	12億4千万円
用地取得費(≒9,000㎡)	1億2千万円
周辺店舗移転費	1億円
引越費用	1千万円

14億7千万円

※一部「区役所庁舎整備検討部会」の価格を使用

※駅周辺整備事業(仮)との費用分担により安価になると考えられる。

区役所は区民への最大サービス機関であり、区民の利便性と西蒲区の拠点都市「巻」の在り方を考え、JR越後線巻駅隣接地での建替えをお願いいたします。

敬具